

【 2 - 2 . 大横川親水公園・曳舟川通り軸】 工作物・景観形成説明書

項 目	景観形成基準	配慮事項（配慮事項を記載して下さい）	照合	現況の把握・分析 と 計画での具体的な配慮事項	照合
高 さ 規 模	大横川親水公園や曳舟川通りから見たときに、圧迫感を感じさせないような隣棟間隔を確保し、長大な壁面の工作物は避ける。				
形 態 意 匠	大横川親水公園や曳舟川通りから見たときに、周辺建築物と調和する形態・意匠とする。				
色 彩	外壁等の色彩や素材は、色彩基準に適合するとともに、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。				
素 材	大横川親水公園沿いにおいては、水や緑の色彩が映える潤いのある景観を形成するよう配慮する。				